

令和3年産夢つくし (5月13日播種) (6月5日移植) 栽培暦

北九州普及指導センター
J A 北 九

月別	5			6			7			8			9					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
水管理																		
生育ステージ及び薬剤使用時期	播種 一箱当たり 播き 150g			移植 50坪当たり 60株植え 株当たり 3〜4本植え 株当り 3〜4本植え 箱剤			補正①+補正② 35日 30日 25日 20日 出穂までの日数 有効分げつ終期 穂首分化期 幼穂形成期			必須① 10日 出穂期			補正②※ 0日 穂揃期			必須② 刈取 成熟期 9/8頃		
管理のポイント	<p>丈夫な稲作に</p> <p>良食味対策に けい酸加里 40kg</p> <p>基肥 バスト444 30kg</p> <p>移植 深植防止</p> <p>補植苗の除去</p> <p>良食味対策に けい酸加里 20kg</p> <p>中干し 溝切り</p> <p>種肥 きたきゆう 水稲用追肥 幼穂 3mm 30kg</p> <p>最も水が必要な時期</p> <p>アツミンの投入 40kg 又は 堆肥投入 2t 土壌改良材の散布</p> <p>〇土壌かん水 〇収穫後早めの耕起 〇(ヒメトビウンカ対策) 〇落水はなるべく遅く</p>																	
病害虫	<p>《栽培注意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 夢つくしはいもち病に弱いため、いもち病の常発地や野菜後等での栽培は避ける。 ☆ 早植えは、高温障害により品質低下となるので避ける。 ☆ 倒れやすい傾向にあるので、過剰施肥にならないよう注意する。 																	
重点防除農薬	<p>育苗管理参照</p> <p>箱剤</p> <p>防人箱粒剤</p> <p>フルスロツトル箱粒剤</p> <p>初中期一発除草剤</p> <p>アピログロウMX1キログ粒剤</p> <p>ガンガン1キログ粒剤</p> <p>サラブレッドKAIフロアブル</p> <p>カラブレッドKAIフロアブル</p> <p>カチポシルジャンボ</p> <p>サラブレッドKAIジャンボ</p> <p>※移植後落水・田面の均一化</p> <p>※病斑が確認された場合は防除 ※発生が無い場合も圃場確認 ※野菜後や高温多雨時は注意 ※昨年縞葉枯病の発生圃場は ご注意ください</p> <p>補正①</p> <p>いもち剤</p> <p>ノンブラスフロアブル</p> <p>ノンブラス粉剤DL</p> <p>ウンカ剤</p> <p>ウンカ剤</p> <p>エクスード粉剤DL</p> <p>エクシードフロアブル</p> <p>コラトツブジャンボP</p> <p>※多発時以外は開花期の散布を避ける</p> <p>必須①</p> <p>粉</p> <p>ブラシントレバリダ粉剤DL</p> <p>液</p> <p>トレボネットW</p> <p>粒</p> <p>ゴウケツモンスター粒剤</p> <p>※発生パターンにより補正防除</p> <p>必須②</p> <p>カメムシ剤</p> <p>アルバリン顆粒水溶剤</p> <p>スタークル豆つぶ</p> <p>※出穂後の畦畔除草はしない</p> <p>《防除注意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 稲の開花期防除については、ミツバチの影響が考えられますので、開花直前から開花後2週間は農薬の散布を避けましょう。 ☆ 散布時期 <ul style="list-style-type: none"> ・必須①は、出穂前散布 ・必須②は、穂揃い期から10日後を目安に散布 ・補正①・②については発生時や多発が予想される際に散布。 ※農薬散布時のドリフトに注意!! 																	
※減農薬成分数	③	④		④	②	③	③	③		②	②	①	①	①				

※減・減栽培夢つくしについては、別途、栽培基準作成